

福知山市役所玄関に『由良川藍染大のれん』掛る!!

運営委員会を開きます

「2014年新年総会」にむけて
20周年のとりくみなどの相談です。
☆日 時 **2月22日(土)**
午後1時30分～3時
☆場 所 庵我教育集会所
(参加くださる方はご連絡ください)

新年総会は下記日程です

☆日時 3月2日(日)午前11時～午後3時
☆場所 庵我教育集会所
☆参加費 2000円(昼食代)
☆申込み切り 2月24日

計報

会員の木村博子さんが1月24日、92才の天寿を全うされご永眠されました。心からのご冥福をお祈りいたします。

☆ふんご遊草会作品展	3月23日～31日
☆橋詰清貫 藍友禪個展	4月12日～6月1日
京都東寺	・
・ 藍工房	・
・ 6月25日～6月30日	西井康元作品展
・ 大和郡山城ホール	・

催し物のご案内

正月の風

福知山藍同好会の会員の新刊「べき徳島の高田豊輝さんが今回「藍染めは誰でも出来る」の第七版を昨年9月に出版されました。高田式発酵すくもによる藍建てをする私たちにとつては「座右の銘」とも言うべき著書です。希望者は同会までご連絡下さい。

開所おひるめ「由良川藍染作品展」を開催

二二二

東北大震災支援活動

20年間学んできた、様々な技法を集め、製作にあたつた会員は、心をこめて今までの集大成の作品として立派に作り上げることが出来ました。「福知山藍同好会」の誇りであり喜びです。20周年を迎える年を飾る、うれしいニュースをお届けします。

復活の藍染め、巨大のれんに

福知山の同好会製作 市役所に掲げる



福知山藍同好会が製作した大型ののれん

82年に復活させた。同会は95年に発足し、市民ら約100人が栽培や染めに取り組む。活動を受け、市も2年前から、市内の店舗の軒先に藍のれんを掲げてもらう「藍のれんプロジェクト」事業を展開。さらに戸舎に藍を扱う同会に依頼していた。のれんは昨年10月から2カ月かけて完成。50~70代の会員10人が中地区的畑で育てたアサガオの花を原料に染め液を作り、福知山城や福知山駅踊りの柄柄をあしらって、木綿を繰り返し染めて仕上げた。一枚横1.5メートルを5枚つなげるため、均等な色を出すのに苦労したという。

塙見さんは「会も高齢化している。復活して、藍染めが、行政の力も得て特産となって伝承してもらえたならうれしい」と話している。(上口祐也)

1月21日の京都新聞に大きく報道されました

卷之二

2014年

2月1日

No. 236

福知山藍同好会
代表 塩見敏治
TEL/FAX ○七三〇一〇一〇六三

一三一六四一五